

2-1 住宅の種類、建て方及び構造

専用住宅は5098万戸、住宅全体の97.8%

居住世帯のある住宅（以下単に「住宅」という。）は5210万戸で、これを住宅の種類別にみると、居住専用に建築された「専用住宅」が5098万戸、居住部分が店舗等の事業用の部分や農林漁業の作業部分と結合している「店舗その他の併用住宅」が112万戸となっており、「専用住宅」が住宅全体の97.8%を占めている。

住宅の種類を年次別にみると、昭和43年は「専用住宅」の割合が80.4%、「店舗その他の併用住宅」が19.6%であったが、その後「専用住宅」の割合は一貫して上昇し、平成25年は「専用住宅」が97.8%、「店舗その他の併用住宅」が2.2%となっている。

<表2-1>

表2-1 住宅の種類別住宅数－全国（昭和43年～平成25年）

年次	総数	住宅の種類	
		専用住宅	店舗その他の併用住宅
実数 (1000戸)			
昭和43年*	24,198	19,461	4,737
48年	28,731	25,125	3,606
53年	32,189	29,145	3,043
58年	34,705	31,935	2,769
63年	37,413	34,701	2,713
平成5年	40,773	38,457	2,317
10年	43,922	41,744	2,178
15年	46,863	45,258	1,605
20年	49,598	48,281	1,317
25年	52,102	50,982	1,121
割合 (%)			
昭和43年*	100.0	80.4	19.6
48年	100.0	87.4	12.6
53年	100.0	90.5	9.5
58年	100.0	92.0	8.0
63年	100.0	92.7	7.3
平成5年	100.0	94.3	5.7
10年	100.0	95.0	5.0
15年	100.0	96.6	3.4
20年	100.0	97.3	2.7
25年	100.0	97.8	2.2
増減数 (1000戸)			
昭和43年～48年*	4,533	5,663	-1,131
48年～53年	3,458	4,021	-562
53年～58年	2,516	2,790	-274
58年～63年	2,709	2,766	-57
63年～平成5年	3,360	3,756	-396
5年～10年	3,149	3,288	-139
10年～15年	2,941	3,514	-573
15年～20年	2,735	3,023	-287
20年～25年	2,504	2,701	-197
増減率 (%)			
昭和43年～48年*	18.7	29.1	-23.9
48年～53年	12.0	16.0	-15.6
53年～58年	7.8	9.6	-9.0
58年～63年	7.8	8.7	-2.1
63年～平成5年	9.0	10.8	-14.6
5年～10年	7.7	8.5	-6.0
10年～15年	6.7	8.4	-26.3
15年～20年	5.8	6.7	-17.9
20年～25年	5.0	5.6	-14.9

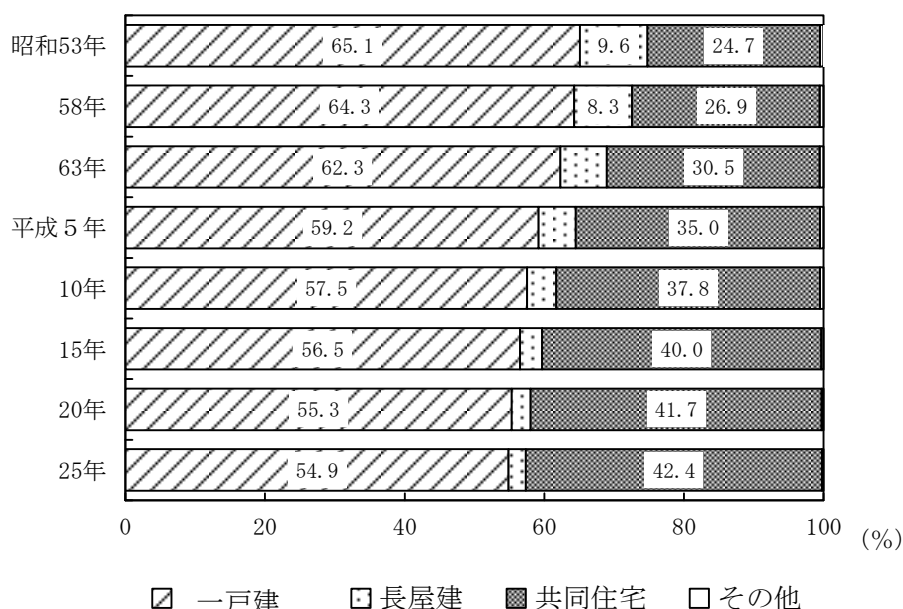
共同住宅の割合は平成20年に引き続き上昇

住宅を建て方別にみると、「一戸建」は2860万戸で住宅全体の54.9%を占めており、「共同住宅」は2209万戸(42.4%)、「長屋建」は129万戸(2.5%)、「その他」は13万戸(0.2%)となっている。平成20年と比べると、「一戸建」は115万戸、4.2%、「共同住宅」は140万戸、6.8%それぞれ増加している。一方、「長屋建」は4万戸、3.1%減少している。

建て方別割合の推移をみると、「一戸建」は昭和53年の65.1%から平成25年の54.9%、「長屋建」は9.6%から2.5%へそれぞれ低下しているのに対し、「共同住宅」は昭和53年の24.7%から一貫して上昇を続け、平成25年には42.4%となっている。

<図2-1, 表2-2>

図2-1 住宅の建て方別割合の推移—全国（昭和53年～平成25年）



進む共同住宅の高層化

建物の階数を建て方別にみると、一戸建は「1階建」が402万戸で一戸建全体の14.0%、「2階建以上」が2458万戸で86.0%と、「2階建以上」が一戸建全体の8割以上を占めている。平成20年と比べると、「1階建」は8.1%減少、「2階建以上」は6.5%増加している。

共同住宅は「1・2階建」が588万戸で共同住宅全体の26.6%、「3～5階建」が835万戸で37.8%、「6階建以上」が785万戸で35.6%と、3階建以上が共同住宅全体の7割以上を占めている。平成20年と比べると、「1・2階建」は3.0%増、「3～5階建」は1.5%増、「6階建以上」は16.4%増となっており、「6階建以上」は共同住宅全体の6.8%増を大きく上回っている。また、「6階建以上」のうち「11階建以上」は23.0%増、「15階建以上」は47.6%増と特に高くなっており、共同住宅の高層化が進んでいることを示している。

<表2-2>

表2-2 住宅の建て方、階数別住宅数－全国（昭和53年～平成25年）

年次	総数	一戸建			長屋建			共同住宅						その他	
		総数	1階建	2階建以上	総数	1階建	2階建以上	総数	1～2階建	3～5階建	6階建以上	うち11階建以上	うち15階建以上		
実数 (1000戸)															
昭和53年	32,189	20,962	9,024	11,938	3,103	1,783	1,320	7,963	4,204	2,981	778	326	16	161	
58年	34,705	22,306	7,776	14,531	2,882	1,425	1,457	9,329	4,028	3,891	1,410	557	31	187	
63年	37,413	23,311	7,044	16,268	2,490	1,143	1,347	11,409	4,320	5,018	2,071	792	50	203	
平成5年	40,773	24,141	6,286	17,855	2,163	913	1,250	14,267	4,975	6,371	2,921	1,016	107	202	
10年	43,922	25,269	5,391	19,878	1,828	711	1,117	16,601	5,285	7,277	4,039	1,414	169	224	
15年	46,863	26,491	4,710	21,781	1,483	532	951	18,733	5,411	7,867	5,456	1,962	326	156	
20年	49,598	27,450	4,370	23,080	1,330	429	901	20,684	5,710	8,229	6,746	2,633	573	134	
25年	52,102	28,599	4,017	24,582	1,289	382	907	22,085	5,880	8,351	7,854	3,238	846	130	
割合 (%)															
昭和53年	100.0	65.1	28.0	37.1	9.6	5.5	4.1	24.7	13.1	9.3	2.4	1.0	0.0	0.5	
58年	100.0	64.3	22.4	41.9	8.3	4.1	4.2	26.9	11.6	11.2	4.1	1.6	0.1	0.5	
63年	100.0	62.3	18.8	43.5	6.7	3.1	3.6	30.5	11.5	13.4	5.5	2.1	0.1	0.5	
平成5年	100.0	59.2	15.4	43.8	5.3	2.2	3.1	35.0	12.2	15.6	7.2	2.5	0.3	0.5	
10年	100.0	57.5	12.3	45.3	4.2	1.6	2.5	37.8	12.0	16.6	9.2	3.2	0.4	0.5	
15年	100.0	56.5	10.1	46.5	3.2	1.1	2.0	40.0	11.5	16.8	11.6	4.2	0.7	0.3	
20年	100.0	55.3	8.8	46.5	2.7	0.9	1.8	41.7	11.5	16.6	13.6	5.3	1.2	0.3	
25年	100.0	54.9	7.7	47.2	2.5	0.7	1.7	42.4	11.3	16.0	15.1	6.2	1.6	0.2	
増減数 (1000戸)															
昭和53年～58年	2,516	1,344	-1,248	2,593	-221	-358	137	1,366	-176	910	632	231	15	26	
58年～63年	2,709	1,005	-732	1,737	-392	-282	-110	2,080	292	1,127	661	235	19	16	
63年～平成5年	3,360	830	-758	1,587	-327	-230	-97	2,858	655	1,353	851	224	57	-1	
5年～10年	3,149	1,129	-895	2,023	-336	-202	-133	2,334	310	906	1,118	398	62	23	
10年～15年	2,941	1,222	-681	1,903	-345	-179	-166	2,132	126	590	1,417	548	157	-68	
15年～20年	2,735	959	-340	1,299	-153	-102	-50	1,952	299	362	1,291	671	248	-22	
20年～25年	2,504	1,149	-353	1,502	-41	-48	6	1,401	171	123	1,108	605	273	-5	
増減率 (%)															
昭和53年～58年	7.8	6.4	-13.8	21.7	-7.1	-20.1	10.3	17.2	-4.2	30.5	81.2	70.9	91.8	16.2	
58年～63年	7.8	4.5	-9.4	12.0	-13.6	-19.8	-7.5	22.3	7.2	29.0	46.8	42.3	63.6	8.5	
63年～平成5年	9.0	3.6	-10.8	9.8	-13.1	-20.1	-7.2	25.1	15.2	27.0	41.1	28.2	113.8	-0.5	
5年～10年	7.7	4.7	-14.2	11.3	-15.5	-22.2	-10.7	16.4	6.2	14.2	38.3	39.2	58.4	11.2	
10年～15年	6.7	4.8	-12.6	9.6	-18.9	-25.2	-14.8	12.8	2.4	8.1	35.1	38.7	92.6	-30.3	
15年～20年	5.8	3.6	-7.2	6.0	-10.3	-19.3	-5.3	10.4	5.5	4.6	23.7	34.2	76.0	-14.3	
20年～25年	5.0	4.2	-8.1	6.5	-3.1	-11.1	0.7	6.8	3.0	1.5	16.4	23.0	47.6	-3.4	

共同住宅のうち高齢者対応型共同住宅が17.2%

共同住宅を高齢者対応の観点からみると、「エレベーターのある共同住宅」が1002万戸で共同住宅全体の45.4%、「高齢者対応型共同住宅」^(注)が381万戸(17.2%)となっている。

建築の時期別にみると、「エレベーターのある共同住宅」は、「昭和35年以前」に建築された住宅では10.7%となっているが、「平成8年～12年」以降は5割を超えている。「高齢者対応型共同住宅」は、「昭和35年以前」は1.0%となっているが、「平成13年～17年」は29.2%、「平成18年～22年」は28.8%、「平成23年～25年9月」は27.7%と約3割となっている。

<表2-3, 図2-2>

(注) 住宅・土地統計調査における「高齢者対応型共同住宅」とは、その敷地に接している道路から共同住宅内の各住宅の入口まで、介助なしに車いすで通行できる構造になっている場合で、次の三つの要件をおおむね満たしているものをいう。

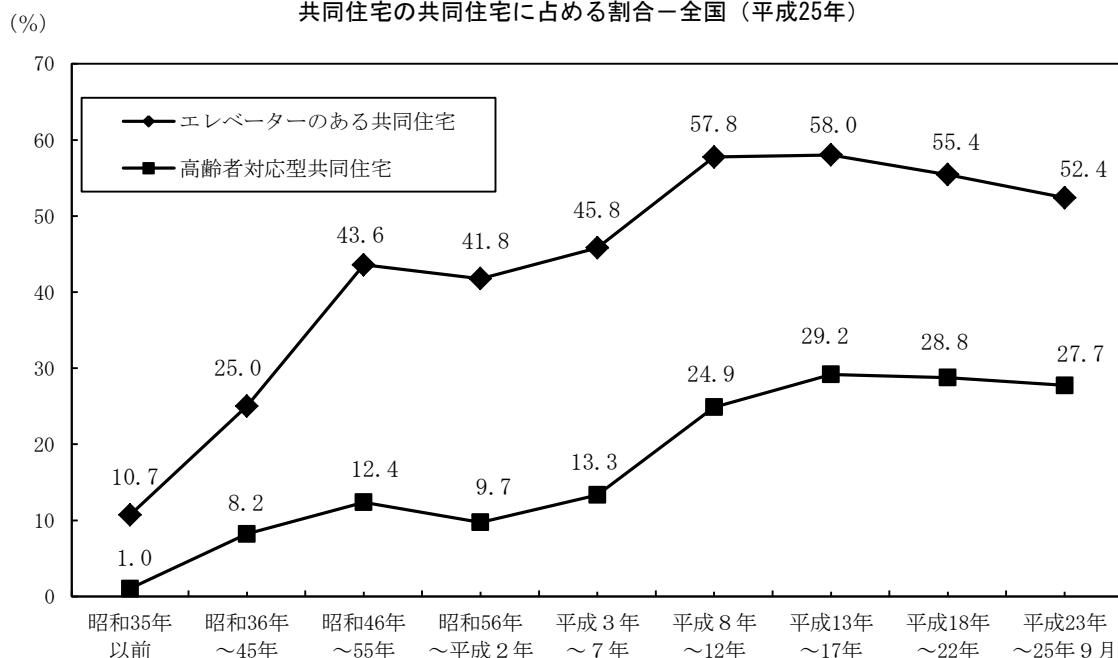
- ① 道路から建物内まで高低差がある場合は、傾斜路が設置してあること
- ② エレベーターの入口の幅が80cm以上あり、乗り場のボタン及びエレベーター内の操作盤が、車いす利用者に配慮した設計になっていること
- ③ 共用の廊下に段差がなく、その幅が140cm以上あること

表2-3 建築の時期別エレベーターのある共同住宅数及び高齢者対応型共同住宅数－全国（平成25年）

建築の時期	実数（1000戸）			割合（％）		
	総数	エレベーターのある共同住宅	高齢者対応型共同住宅	総数	エレベーターのある共同住宅	高齢者対応型共同住宅
共同住宅 1)	22,085	10,025	3,809	100.0	45.4	17.2
昭和35年以前	137	15	1	100.0	10.7	1.0
昭和36年～45年	840	210	69	100.0	25.0	8.2
昭和46年～55年	2,780	1,212	344	100.0	43.6	12.4
昭和56年～平成2年	4,210	1,759	410	100.0	41.8	9.7
平成3年～7年	2,624	1,202	350	100.0	45.8	13.3
平成8年～12年	2,737	1,581	681	100.0	57.8	24.9
平成13年～17年	2,736	1,588	799	100.0	58.0	29.2
平成18年～22年	2,827	1,568	813	100.0	55.4	28.8
平成23年～25年9月	908	476	252	100.0	52.4	27.7

1) 建築の時期「不詳」を含む。

図2-2 建築の時期別エレベーターのある共同住宅及び高齢者対応型共同住宅の共同住宅に占める割合－全国（平成25年）



住宅の4割が非木造

住宅を構造別にみると、「木造」は3011万戸で住宅全体の57.8%、「鉄筋・鉄骨コンクリート造」や「鉄骨造」などの「非木造」は2199万戸（42.2%）となっている。平成20年と比べると、「木造」は88万戸、3.0%、「非木造」は163万戸、8.0%それぞれ増加している。

「木造」の割合は、昭和53年には81.7%と約8割を占めていたものの、その後は徐々に低下し、平成25年では57.8%と6割を下回っている。一方、「非木造」の割合は、昭和53年の18.3%から平成25年の42.2%へ上昇を続けており、住宅の非木造化が進んでいることを示している。

非木造の住宅2199万戸の内訳をみると、「鉄筋・鉄骨コンクリート造」は1767万戸で非木造全体の80.3%と8割を占め、「鉄骨造」は419万戸（19.0%）、「その他」は14万戸（0.6%）となっている。平成20年と比べると、「鉄筋・鉄骨コンクリート造」は139万戸、8.5%、「鉄骨造」は25万戸、6.4%とそれぞれ増加している。

<表2-4>

表2-4 建物の構造別住宅数—全国（昭和53年～平成25年）

年次	総数	木造			非木造					
		総数	木造 (防火木造を除く)	防火木造	総数	鉄筋・鉄骨 コンクリート造	鉄骨造	ブロック造	その他 1)	
実数 (1000戸)										
昭和	53年	32,189	26,287	18,104	8,184	5,901	4,906	-	670	325
	58年	34,705	26,871	16,011	10,859	7,834	6,943	-	503	388
	63年	37,413	27,314	15,448	11,866	10,100	9,170	-	420	510
平成	5年	40,773	27,787	13,921	13,866	12,987	11,824	-	352	810
	10年	43,922	28,275	13,641	14,633	15,647	14,339	-	268	1,041
	15年	46,863	28,759	14,850	13,909	18,104	14,943	3,018	-	143
	20年	49,598	29,233	13,445	15,788	20,365	16,277	3,936	-	152
	25年	52,102	30,108	13,263	16,845	21,994	17,665	4,188	-	141
割合 (%)										
昭和	53年	100.0	81.7	56.2	25.4	18.3	15.2	-	2.1	1.0
	58年	100.0	77.4	46.1	31.3	22.6	20.0	-	1.4	1.1
	63年	100.0	73.0	41.3	31.7	27.0	24.5	-	1.1	1.4
平成	5年	100.0	68.1	34.1	34.0	31.9	29.0	-	0.9	2.0
	10年	100.0	64.4	31.1	33.3	35.6	32.6	-	0.6	2.4
	15年	100.0	61.4	31.7	29.7	38.6	31.9	6.4	-	0.3
	20年	100.0	58.9	27.1	31.8	41.1	32.8	7.9	-	0.3
	25年	100.0	57.8	25.5	32.3	42.2	33.9	8.0	-	0.3
増減数 (1000戸)										
	昭和53年～58年	2,516	583	-2,092	2,676	1,932	2,037	-	-167	63
	58年～63年	2,709	443	-563	1,006	2,266	2,227	-	-83	122
	63年～平成5年	3,360	473	-1,527	2,000	2,887	2,654	-	-68	300
	5年～10年	3,149	488	-279	767	2,661	2,515	-	-84	231
	10年～15年	2,941	484	1,209	-724	2,457	605	-	-	-898
	15年～20年	2,735	474	-1,405	1,879	2,261	1,334	918	-	10
	20年～25年	2,504	875	-182	1,058	1,629	1,387	252	-	-11
増減率 (%)										
	昭和53年～58年	7.8	2.2	-11.6	32.7	32.7	41.5	-	-24.9	19.2
	58年～63年	7.8	1.6	-3.5	9.3	28.9	32.1	-	-16.5	31.5
	63年～平成5年	9.0	1.7	-9.9	16.9	28.6	28.9	-	-16.1	58.8
	5年～10年	7.7	1.8	-2.0	5.5	20.5	21.3	-	-24.0	28.5
	10年～15年	6.7	1.7	8.9	-4.9	15.7	4.2	-	-	-86.3
	15年～20年	5.8	1.6	-9.5	13.5	12.5	8.9	30.4	-	6.7
	20年～25年	5.0	3.0	-1.4	6.7	8.0	8.5	6.4	-	-7.4

1) 平成10年までの「その他」は鉄骨造、レンガ造など。平成15年以降の「その他」はブロック造、レンガ造など。

共同住宅の7割が鉄筋・鉄骨コンクリート造

住宅を建て方、構造別にみると、一戸建は「防火木造」が1428万戸で一戸建全体の49.9%、「木造（防火木造を除く）」が1209万戸（42.3%）となっており、「木造（防火木造を除く）」と「防火木造」で一戸建全体の9割以上を占めている。長屋建は、「木造（防火木造を除く）」と「防火木造」で長屋建全体の7割以上を占めている。

一方、共同住宅は「鉄筋・鉄骨コンクリート造」が1630万戸で、共同住宅全体の7割以上を占めている。

<表2-5>

表2-5 住宅の建て方、構造別住宅数—全国（平成25年）

建て方	総数	木造 (防火木造を除く)	防火木造	鉄筋・鉄骨 コンクリート造	鉄骨造	その他
実数 (1000戸)						
住宅総数	52,102	13,263	16,845	17,665	4,188	141
一戸建	28,599	12,091	14,280	1,123	1,049	56
長屋建	1,289	430	494	186	137	42
共同住宅	22,085	718	2,044	16,304	2,979	41
その他	130	25	28	52	23	2
割合 (%)						
住宅総数	100.0	25.5	32.3	33.9	8.0	0.3
一戸建	100.0	42.3	49.9	3.9	3.7	0.2
長屋建	100.0	33.3	38.3	14.4	10.6	3.3
共同住宅	100.0	3.3	9.3	73.8	13.5	0.2
その他	100.0	19.0	21.5	39.9	18.0	1.5

共同住宅の割合は大都市を含む都府県で高い

住宅の建て方別割合を都道府県別にみると、「一戸建」は秋田県が81.0%と最も高く、次いで山形県が79.8%、富山県が79.7%、福井県が78.5%、青森県及び和歌山県が共に76.8%などとなっており、日本海側の県で高い傾向にある。一方、東京都が27.8%と最も低く、次いで大阪府が40.7%、神奈川県が41.6%、沖縄県が42.3%、福岡県が46.1%などとなっている。

「共同住宅」は東京都が70.0%と最も高く、次いで神奈川県が56.1%、沖縄県が55.9%、大阪府が55.2%、福岡県が51.1%などとなっており、大都市を含む都府県で高くなっている。一方、秋田県が17.2%と最も低く、次いで山形県が18.4%、富山県が18.8%、和歌山県が18.9%、福井県が19.4%などとなっている。

<図2-3, 図2-4, 表2-6>

図2-3 一戸建の割合—都道府県（平成25年）

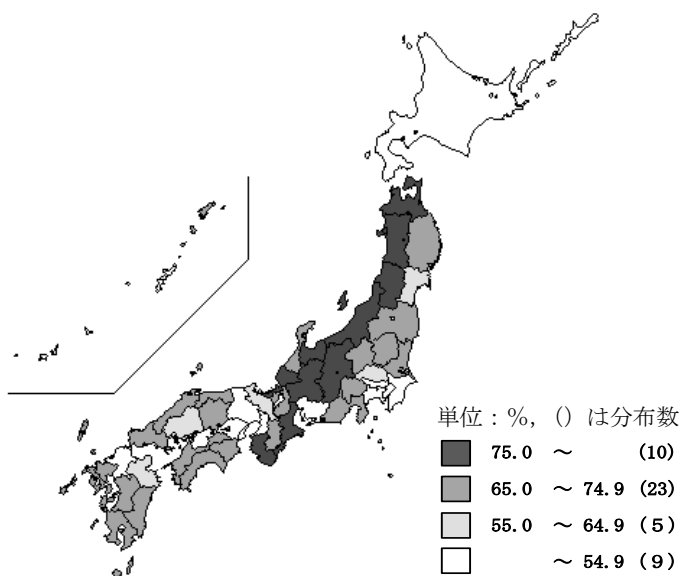
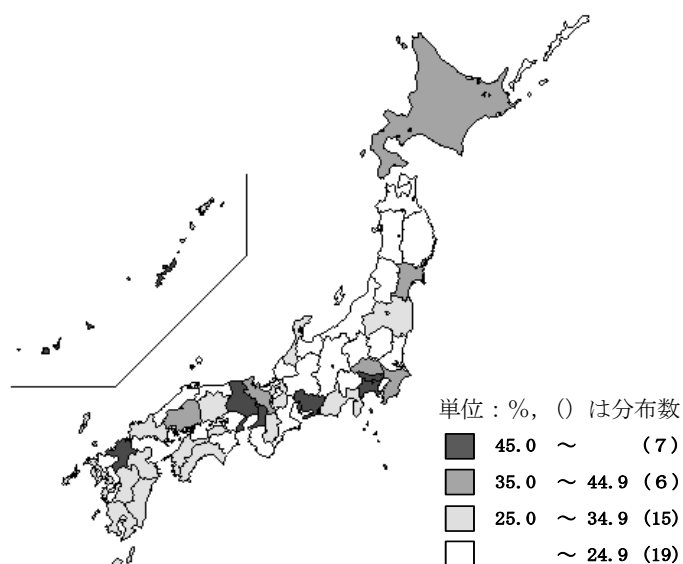


図2-4 共同住宅の割合—都道府県（平成25年）



非木造住宅の割合が9割を超える沖縄県

住宅の構造別割合を都道府県別にみると、「非木造」は沖縄県が95.5%と最も高く、次いで東京都が63.9%、大阪府が59.1%、愛知県及び福岡県が共に51.6%などとなっている。

一方、青森県が11.8%と最も低く、次いで秋田県が12.8%、山形県が14.6%、新潟県が16.0%、岩手県が16.8%などとなっている。

<図2-5, 表2-6>

図2-5 非木造住宅の割合—都道府県（平成25年）

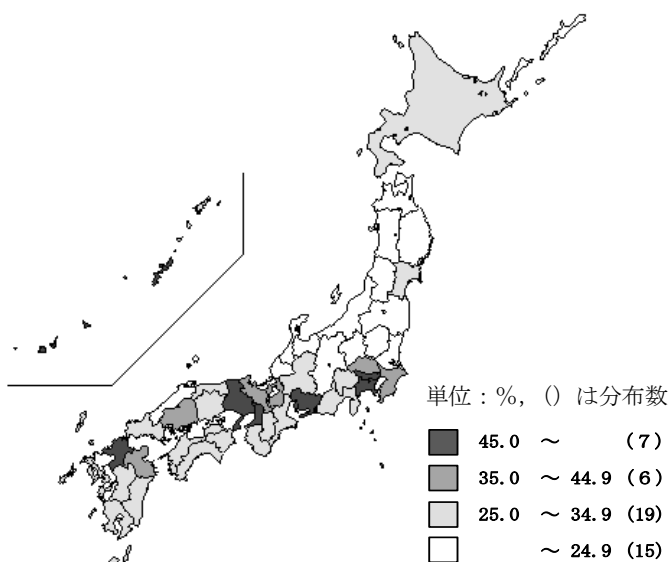


表2-6 住宅の建て方・構造別割合—都道府県（平成25年）

（%）

都 道 府 県	住宅総数	建て方				構造	
		一戸建	長屋建	共同住宅	その他	木造	非木造
全 国	100.0	54.9	2.5	42.4	0.2	57.8	42.2
北海道	100.0	53.4	4.3	42.0	0.3	69.1	30.9
青森県	100.0	76.8	3.2	19.7	0.3	88.2	11.8
岩手県	100.0	72.7	4.6	22.4	0.3	83.2	16.8
宮城県	100.0	55.4	3.0	41.5	0.2	65.4	34.6
秋田県	100.0	81.0	1.6	17.2	0.2	87.2	12.8
山形県	100.0	79.8	1.5	18.4	0.2	85.4	14.6
福島県	100.0	70.5	3.0	26.2	0.3	75.9	24.1
茨城県	100.0	73.5	2.0	24.4	0.1	76.0	24.0
栃木県	100.0	74.0	1.3	24.6	0.1	75.4	24.6
群馬県	100.0	74.6	1.8	23.3	0.2	77.3	22.7
埼玉県	100.0	56.1	1.5	42.3	0.2	60.7	39.3
千葉県	100.0	54.1	1.9	43.8	0.1	59.0	41.0
東京都	100.0	27.8	1.8	70.0	0.4	36.1	63.9
神奈川県	100.0	41.6	2.1	56.1	0.2	49.3	50.7
新潟県	100.0	76.4	1.7	21.7	0.2	84.0	16.0
富山県	100.0	79.7	1.3	18.8	0.2	80.2	19.8
石川県	100.0	71.5	1.5	26.7	0.3	75.6	24.5
福井県	100.0	78.5	1.5	19.4	0.6	77.5	22.6
山梨県	100.0	74.3	1.7	23.8	0.2	73.8	26.1
長野県	100.0	75.9	2.9	20.9	0.3	78.1	21.9
岐阜県	100.0	75.2	2.2	22.4	0.2	70.8	29.2
静岡県	100.0	67.8	1.6	30.4	0.2	65.8	34.2
愛知県	100.0	50.9	2.6	46.3	0.2	48.4	51.6
三重県	100.0	75.3	1.9	22.6	0.2	70.5	29.5
滋賀県	100.0	69.7	2.0	28.1	0.2	65.0	35.0
京都府	100.0	56.5	2.6	40.7	0.2	56.8	43.2
大阪府	100.0	40.7	3.9	55.2	0.2	40.9	59.1
兵庫県	100.0	50.5	2.6	46.7	0.2	49.7	50.3
奈良県	100.0	68.2	3.7	28.0	0.2	66.7	33.3
和歌山県	100.0	76.8	4.0	18.9	0.2	72.6	27.4
鳥取県	100.0	72.3	3.8	23.6	0.2	74.5	25.6
島根県	100.0	74.5	3.1	22.3	0.2	79.7	20.2
岡山県	100.0	69.4	3.0	27.3	0.3	68.7	31.3
広島県	100.0	57.6	3.0	39.1	0.3	58.4	41.6
山口県	100.0	69.0	3.0	27.8	0.2	65.4	34.6
徳島県	100.0	72.3	2.9	24.5	0.3	67.3	32.7
香川県	100.0	70.0	2.4	27.1	0.4	69.4	30.6
愛媛県	100.0	69.8	3.3	26.5	0.4	67.5	32.5
高知県	100.0	69.8	2.5	27.4	0.3	67.4	32.6
福岡県	100.0	46.1	2.6	51.1	0.2	48.4	51.6
佐賀県	100.0	73.3	2.7	23.7	0.4	76.0	24.0
長崎県	100.0	66.6	3.0	29.6	0.7	70.3	29.7
熊本県	100.0	65.3	2.8	31.7	0.3	66.4	33.6
大分県	100.0	63.7	2.4	33.6	0.3	63.8	36.2
宮崎県	100.0	71.9	1.7	26.1	0.2	71.5	28.5
鹿児島県	100.0	69.0	2.0	28.5	0.5	68.8	31.2
沖縄県	100.0	42.3	1.4	55.9	0.4	4.5	95.5

共同住宅の割合が5割を超える関東大都市圏

住宅の建て方別割合を3大都市圏別にみると、「一戸建」は関東大都市圏が41.2%、近畿大都市圏が48.1%と全国(54.9%)を下回っているが、中京大都市圏が54.8%と全国とほぼ同水準になっている。一方、「共同住宅」は関東大都市圏が56.7%、近畿大都市圏が48.4%と全国(42.4%)を上回っているが、中京大都市圏が42.4%と全国と同水準になっている。特に、関東大都市圏では過半数の住宅が「共同住宅」となっている。

住宅の構造別割合をみると、「木造」は関東大都市圏が48.0%、中京大都市圏が51.8%、近畿大都市圏が47.6%と、いずれも全国(57.8%)を下回っている。一方、「非木造」は関東大都市圏が52.0%、中京大都市圏が48.2%、近畿大都市圏が52.4%と、いずれも全国(42.2%)を上回っており、3大都市圏は全国に比べ「木造」の割合が低く、「非木造」の割合が高くなっている。

<表2-7, 図2-6>

表2-7 住宅の建て方・構造別住宅数－3大都市圏（平成25年）

建て方・構造	全国	3大都市圏				3大都市圏以外
		総数	関東大都市圏	中京大都市圏	近畿大都市圏	
実数(1000戸)						
総数	52,102	28,044	16,166	3,611	8,268	24,058
(建て方)						
一戸建	28,599	12,626	6,667	1,979	3,980	15,973
長屋建	1,289	659	295	94	271	629
共同住宅	22,085	14,696	9,160	1,533	4,004	7,389
その他	130	63	44	6	13	66
(構造)						
木造	30,108	13,567	7,758	1,872	3,937	16,541
非木造	21,994	14,477	8,408	1,739	4,330	7,516
割合(%)						
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
(建て方)						
一戸建	54.9	45.0	41.2	54.8	48.1	66.4
長屋建	2.5	2.4	1.8	2.6	3.3	2.6
共同住宅	42.4	52.4	56.7	42.4	48.4	30.7
その他	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3
(構造)						
木造	57.8	48.4	48.0	51.8	47.6	68.8
非木造	42.2	51.6	52.0	48.2	52.4	31.2

図2-6 住宅の建て方別割合－3大都市圏（平成25年）

